

Ⅳ-2 親子でイライラしていませんか

【プログラムのねらい】

- ・日増しに言葉遣いが悪くなる思春期の子どもに、どう向き合ったらよいかを話し合い、穏やかな言葉が出るような親子の関係と家庭の雰囲気づくりを考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんをし、負けた人から円形に座っていく。 ・連想ゲームをする。 ・グループ分け(4人のグループに分ける) 	P2「アイスブレーキング各種」参照 名札
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、4人1組で激しい言葉の応酬をロールプレイする。 ※エピソードを読み、母親、子ども、それを見守る人になる。最初の言葉「どこに行っていたの」をきっかけに会話を続ける。 ・なぜ友也はこのような言葉遣いをするのか考える。 ・穏やかに会話をするための言葉や態度を考える。 ※子どもの行動を否定する言葉ではなく、母親のアイメッセージを伝えるようにする。 ・穏やかになる言葉で、ロールプレイする。 ※グループで話し合い、言葉遣いの悪い子どもとそれを受けとめる母親になって、会話を続ける。交代して会話をする。 ※穏やかになれる言葉や柔らかく受け止める言葉や態度について話し合う。 ・思春期の子どもに対するコミュニケーションの取り方や態度を考える。 	ワークシート 筆記用具 資料
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た意見を全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート